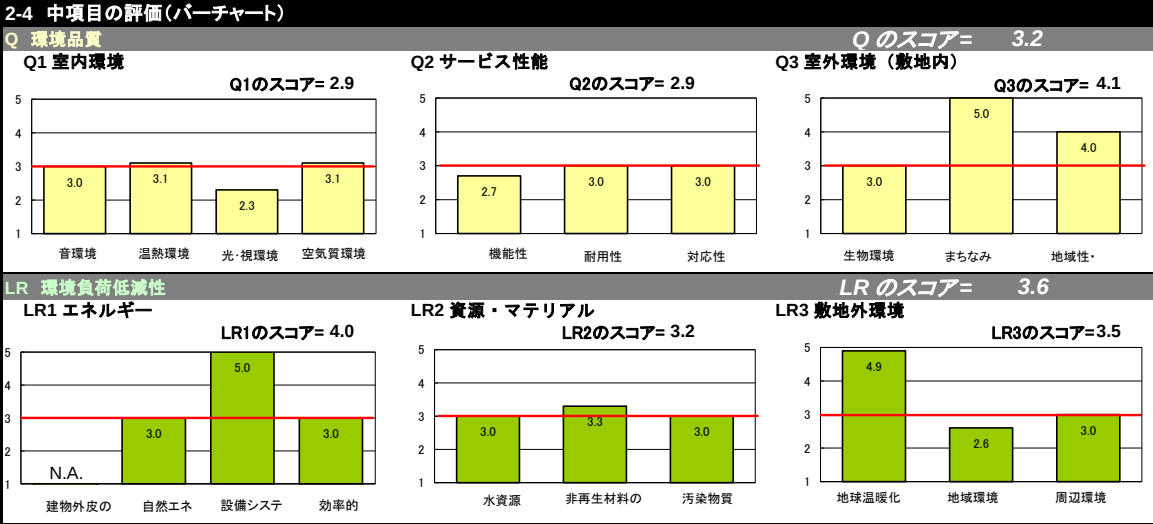
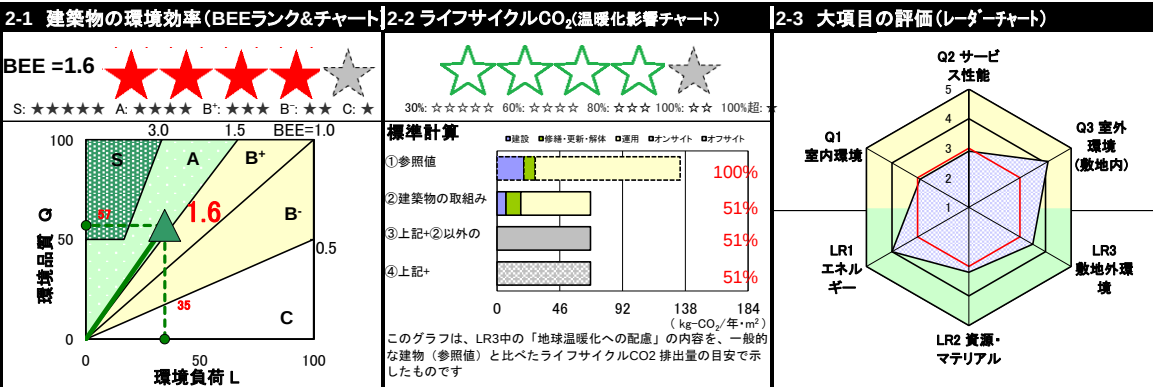


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営東高森台住宅 A棟(仮称)	階数	地上10階
建設地	愛知県春日井市高森台七丁目1番1の一部	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	250 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年7月 予定	評価の実施日	2024年12月13日
敷地面積	6,707 m ²	作成者	長田瑞基
建築面積	1,100 m ²	確認日	2024年12月13日
延床面積	6,285 m ²	確認者	長田瑞基



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
4.9	3.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.1	1.0

外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	
17.3 %	
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	
0.0 %	
<外装材に使用した地域性のある材料>	
なし	
<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	
なし	

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}}$ × 100

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
県営東高森台住宅 A棟(仮称)

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								3.2		
Q1 室内環境					0.40		-	2.9		
1 音環境			0.1	3.0	0.15	3.0	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル			3.0	3.0	0.50		3.0	0.50		
1.2 遮音			0.5	3.0	0.50		3.0	0.50		
1 開口部遮音性能			-	3.0	1.00		3.0	0.30		
2 界壁遮音性能			-	3.0	-		3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	-		3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	-		3.0	0.20		
1.3 吸音			-	3.0	-		3.0	-		
2 温熱環境			0.3	3.0	0.35	3.1	3.1	1.00	3.1	
2.1 室温制御			1.0	3.0	1.00	3.3	3.3	0.50		
1 室温			3.0	3.0	0.63		3.0	0.63		
2 外皮性能			3.0	3.0	0.38		4.0	0.38		
3 ゾーン別制御性			3.0	3.0	-		-	-		
2.2 湿度制御			3.0	-	-		3.0	0.20		
2.3 空調方式			3.0	-	-		3.0	0.30		
3 光・視環境			0.2	2.0	0.25	2.4	2.4	1.00	2.3	
3.1 昼光利用			0.3	1.8	0.30	2.0	2.0	0.30		
1 昼光率			3.0	1.0	0.60		1.0	0.50		
2 方位別開口				-	-		3.0	0.30		
3 昼光利用設備			3.0	3.0	0.40		3.0	0.20		
3.2 グレア対策			0.3	2.0	0.30	3.0	3.0	0.30		
1 昼光制御			5.0	2.0	1.00		3.0	1.00		
3.3 照度			3.0	1.0	0.15		1.0	0.15		
3.4 照明制御			3.0	3.0	0.25		3.0	0.25		
4 空気質環境			0.2	3.0	0.25	3.1	3.1	1.00	3.1	
4.1 発生源対策			0.6	3.0	0.60	3.0	3.0	0.63		
1 化学汚染物質			3.0	3.0	1.00		3.0	1.00		
4.2 換気			0.4	3.0	0.40	3.3	3.3	0.38		
1 換気量			3.0	3.0	0.50		3.0	0.33		
2 自然換気性能			3.0	3.0	-		4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	3.0	0.50		3.0	0.33		
4.3 運用管理			-	-	-		-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	3.0	-		-	-		
2 喫煙の制御			3.0	3.0	-		-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-	-	2.9	
1 機能性			0.4	2.5	0.40	2.8	2.8	1.00	2.7	
1.1 機能性・使いやすさ			0.4	3.0	0.40	3.0	3.0	0.60		
1 広さ・収納性			3.0	3.0	-		3.0	-		
2 高度情報通信設備対応			3.0	3.0	-		3.0	1.00		
3 バリアフリー計画			3.0	3.0	1.00		-	-		
1.2 心理性・快適性			0.3	1.0	0.30	2.5	2.5	0.40		
1 広さ感・景観 (天井高)			3.0	3.0	-		4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			3.0	3.0	-		-	-		
3 内装計画			3.0	1.0	1.00		1.0	0.50		
1.3 維持管理			0.3	3.5	0.30	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計			3.0	4.0	0.50		-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	-		
2 耐用性・信頼性			0.3	3.0	0.31	-	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振			0.4	3.0	0.48		-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	3.0	0.80		-	-		
2 免震・制震・制振性能			3.0	3.0	0.20		-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			0.3	3.3	0.33	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数			-	5.0	0.25		-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			-	3.0	0.25		-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			-	2.0	0.10		-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			-	-	-		-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			-	3.0	0.17		-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			-	3.0	0.25		-	-		
2.4 信頼性			0.1	2.4	0.19	-	-	-		
1 空調・換気設備			3.0	3.0	0.20		-	-		
2 給排水・衛生設備			3.0	3.0	0.20		-	-		
3 電気設備			3.0	1.0	0.20		-	-		
4 機械・配管支持方法			3.0	3.0	0.20		-	-		
5 通信・情報設備			3.0	2.0	0.20		-	-		

3 対応性・更新性			0.2	3.1	0.29	3.0	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	-	3.0	3.0	0.50	
1 階高のゆとり			-	3.0	-		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	3.0	-		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	-		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			1.0	3.1	1.00			-	
1 空調配管の更新性	②	排水立管の集約、点検口の設置	-	3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性			3.0	4.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22			-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30		-	-	4.1
1 生物環境の保全と創出	独自③		-	3.0	0.30		-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④	色調を統一し、調和のとれた街並み	-	5.0	0.40		-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	4.0	0.30	-	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④	広場を確保し、地域のにぎわいに貢献	-	5.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-			-	3.6
LR1 エネルギー					0.40		-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.8	3.0	-	-		-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.25		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=0.8	3.0	5.0	0.50		-	-	5.0
4 効率的運用			0.2	3.0	0.25	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	3.0	-		-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	3.0	-		-	-	
集合住宅の評価			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制			-	3.0	0.50		-	-	
LR2 資源・マテリアル					0.30		-	-	3.2
1 水資源保護			0.1	3.0	0.15	-	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	3.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	1.00		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	-		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	3.3	0.63	-	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			-	2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.24		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	②	高炉セメント(基礎部分)	-	5.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	再生砕石(あいくる材)	3.0	3.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	3.0	0.05		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自		3.0	3.0	0.24		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.0	0.68		-	-	
1 消火剤			-	-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	3.0	1.00		-	-	
3 冷媒			3.0	-	-		-	-	
LR3 敷地外環境					0.30		-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2排出率51%	-	4.9	0.33		-	-	4.9
2 地域環境への配慮			0.3	2.6	0.33	-	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			-	1.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	3.5	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制	独自	敷地への駐車場乗入れ位置を同じ道路に面して設けない計画	-	5.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			-	3.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40		-	-	
1 騒音	独自		-	3.0	1.00		-	-	
2 振動	独自		-	-	-		-	-	
3 悪臭			-	-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制			-	3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制			-	3.0	-		-	-	
3 日照障害の抑制			-	3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70		-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30		-	-	

重点項目スコアシート
県営東高森台住宅 A棟(仮称)

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新編)2016年版+あいも版手引き

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.9	0.10	3.1
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.1	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.19	
③ 敷地内の緑化				3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:17.3%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 県営東高森台住宅 A棟(仮称)

計画上の配慮事項	
総合	既存住棟(5階建)の建替え事業である本計画は、中層化(10階建)することで敷地内平面駐車場、児童遊園を広く確保し、地域のコミュニティーを促進します。
Q1 室内環境	・室内化学物質調査では規定値をクリアされている。 ・F☆☆☆☆以上を全面的に使用し、室内化学物質調査をしている。
Q2 サービス性能	・建築基準法上の耐震性をクリアしている。 ・住宅性能表示基準劣化対策等級3をクリアしている
Q3 室外環境(敷地内)	・敷地内緑地を条例基準以上確保している。 ・地域を考慮した外観デザインを採用している。
LR1 エネルギー	・住宅性能表示基準断熱等性能等級5をクリアしている。 ・住宅性能表示基準一次エネルギー消費量等級6をクリアしている。 ・南側バルコニーとしている。
LR2 資源・マテリアル	・大便器を節水型ロータンクとしている。 ・基礎部分に高炉セメントを使用している。 ・有害物質を含まない材料を使用している。
LR3 敷地外環境	・分別可能な特定ゴミ置き場を設置している。 ・適切な量の自転車置場、駐車スペースを設けている。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。